

# うつのみや路物語

## 宮ストリートストーリー

みち路の数だけ物語がある。うつのみやの路を紹介します。



八日市場通り自治会  
村田 嘉一郎さん

# 八日市場通り



▲昭和4年の八日市場通り (三日月呉服店提供)

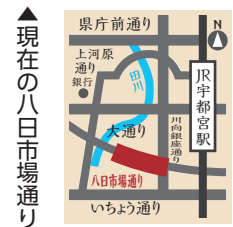
八日市場通りは、本多正純が町割り替えを行ったとき、奥州街道沿いで八日ごとに開かれていた「市」をこの地に移したことから、そう呼ばれるようになりました。江戸時代には、ゴマや菜種などの水油やしようなゆなどの製造業が立ち並び、にぎわっていたそうです。私が子どもの頃は、近くに水あめ屋があって、割り箸にぐるぐるっと巻いてもらってよく食べたものです。水あめを買って、その後にはチャンバラごっこをするというのがお決まりでした。当時は馬車が走っていたことをよく覚えています。馬車の後ろにつかまってぶらさがっているのと、「コラー」なんて怒られてね。懐かしいですね。現在の八日市場通りの風景は

少し変わってしまいました。変わらぬものもあります。それが、右の写真の八日市場不動尊です。通りを少し入ったところにあるこの不動尊は、元弘2年(1332年)に祭られ、明治22年(1889年)に別の場所にあったものをここに移しました。今でも毎年1月28日の初不動の日にみんなでお参りしています。

ひっそりとたたずむこの不動尊は、これからも八日市場通りの町並みと人々を見守ってくれることでしょう。



▲八日市場不動尊



▲現在の八日市場通り